

KN グローカルリサーチレポート

2020年5月
No.49



在宅勤務が多くなり、人と会わない web 商談も広がってきました。これからの私たちの生活スタイルも大きく変わるのではないかと考えられます。

今年のGWは「Stay Home」です。行楽や帰省などでの移動も自粛です。JR各社によると、GW期間中の新幹線の指定席の予約は、前年同期と比べ9割も減っているとの事です。表1は、東海道新幹線の「月次利用状況」です。この3月と4月の東海道新幹線の利用者は激減しています。

表1 月次利用状況(対前年比) 単位: %

	2019年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月	3月	*4月
のぞみ	104	104	103	103	100	102	98	100	101	103	92	40	14
ひかり	104	103	103	103	100	104	102	101	101	102	91	37	11
こだま	103	103	101	102	99	105	98	101	101	103	93	50	21

JR東海 IR 決算資料より作成 (*4月15日まで)

浜松市のホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」で、市民への情報提供、事業者への支援や経済対策、学校や公共施設の状況などを確認できます。



また、市内の最新の感染動向は <https://stopcovid19-hamamatsu.netlify.app/> で確認できます。



【浜松市内の病院・病床数】

表2は、平成31年3月31日現在の浜松市内の病院の病床数で、全部で8,744床ある。内訳は、一般病床が4,767床、療養病床が2,118床、精神病床が1,809床、結核病床が40床、感染症病床が10床となっている。もともと新型コロナウイルスに対応できる病床は浜松市が経営する医療センターと佐久間病院の10床だが、市では、受け入れ先の確保に動いている。

表2 浜松市内の病院の病床数(200床以上) H31年3月31日現在

病院名	計	一般	療養	結核	精神	感染症	経営
聖隷三方原	934	810		20	104		社福
聖隷浜松	750	750					社福
浜松医大	613	576			37		独立
医療センター	606	600				6	市
遠州病院	400	340	60				厚生連
天竜病院	328	258		20	50		独立
労災病院	312	312					独立
浜松赤十字	312	312					日赤
すずかけ	309	205	104				医法
十全病院	299	95	204				医法
三方原病院	278				278		医法
西山病院	271		271				医法
さくら台	258		138		120		医法
朝山病院	240				240		医法
浜松病院	239				239		医法
とよおか	230		230				医法
佐鳴湖	230				230		医法
リハビリテーション	225	180	45				市
佐久間病院	60	36	20			4	市
合計	8,744	4,767	2,118	40	1,809	10	

『浜松市保健衛生年報「令和元年版」』より作成

***** ～～ バンコクの風 ～～*****

タイは世界有数の格差社会です。貧富の差は日本以上に大きく、高層ビルや高級コンドミニアムが佇む街の片隅で、障害をアピールして寄付を募る光景もよく見かけます。

しかし、タイの人々はいつも基本的にニコニコ笑顔でいます。街の屋台の人、工事現場で働いてる人、オフィスビルで働くサラリーマン、お店の店員さん、などなど…。「微笑みの国タイ」と呼ばれていることに納得です。弊社のオフィスも毎日みんなの笑顔が溢れております。

タイでは知らない人同士でも目が合えばサワディーカー（タイ語の挨拶）と微笑みながら挨拶をし、こちらもサワディーカーと微笑み返します。この何気ないほんの数秒のやりとりでとても心が温まります。タイに住み始めた頃はとても感動的でした。コミュニケーションにおいて笑顔と挨拶は本当に大切であり、人の心を満たしてくれます。

今Covid-19が蔓延しており、世界中で自粛生活を余儀なくされております。当然、人の心も疲弊し始めています。こんな状況下だからこそ、より笑顔や挨拶が人間にとって必要であり、心の豊かさが幸せに繋がるのでは？とタイに来て改めて実感しました。（バンコク・NK）



イセキサイド・タイランド

平成 31 年 4 月 1 日現在、『特定感染症（未知の感染症防止）指定医療機関』は「成田赤十字病院（成田空港近く）」、「国立国際医療研究センター病院（新宿区）」、「常滑市民病院（中部空港近く）」、「りんくう総合医療センター（関西空港近く）」の 4 医療機関 10 床である。



『第一種感染症（エボラ出血熱、天然痘、ペスト等防止）指定医療機関』は 55 医療機関 103 床で、県内では、「静岡市立静岡病院」の 2 床である。

『第二種感染症（結核、SARS、MERS 等防止）指定医療機関』は 351 医療機関 1,758 床で、浜松とその近郊では、「浜松医療センター」6 床、「佐久間病院」4 床、「磐田市立総合病院」2 床、「中東遠総合医療センター」4 床、「豊橋市民病院」10 床となっている。

表 3 を見ると、平時では、感染症での利用は、ほとんど無いことがわかる。

私たちは地域医療の現状を理解し、医療崩壊が起きないように、一人一人が感染症予防を強く意識し、行動しなければならない。

表 3 病院の利用状況 H29年1月1日～12月31日

利用率%	全病床	一般	療養	精神	感染症	結核
国	80.4	75.9	88.0	86.1	3.3	33.6
静岡県	79.2	74.4	87.6	82.3	6.2	29.4
浜松市	82.0	79.2	89.5	81.0	無し	30.8

*在院日数	全病床	一般	療養	精神	感染症	結核
国	28.2	16.2	146.3	267.7	8.0	66.5
静岡県	28.0	15.3	166.4	257.2	11.9	59.8
浜松市	26.9	14.7	166.5	219.6	無し	51.6

(*平均) 『浜松市保健衛生年報「令和元年版」』より作成

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
 (公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
 浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org